

FR55

タッチ コンピュータ



ZEBRA

クイックスタートガイド

2025/06/23

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2025 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/informationpolicy.

著作権および商標: zebra.com/copyright.

特許: ip.zebra.com.

保証: zebra.com/warranty.

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

モデル番号

このガイドが適用されるモデル番号：FR55E0。

デバイスの開梱

デバイスを箱から取り出します。

1. デバイスを覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、輸送用の箱を保管しておきます。
2. 次のものが揃っていることを確認します。
 - ・ タッチコンピュータ
 - ・ リチウムイオン バッテリ
 - ・ 規制ガイド
 - ・ 高耐久性ブーツ（デバイスを収容）
3. 破損している機器がないかどうかを確認します。不足または破損している機器がある場合は、ただちにグローバルカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
4. デバイスを初めて使用する前に、ディスプレイ、カメラウィンドウを覆っている搬送保護フィルムを剥がしてください。

デバイスの機能

ここでは、FR55タッチ コンピュータの機能について説明します。

図 1 正面図と側面図

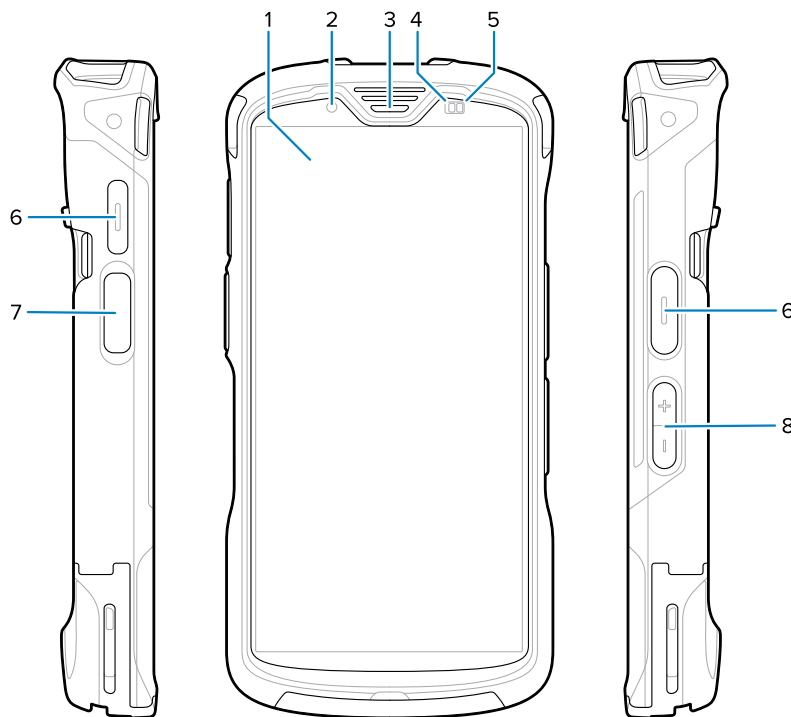


表 1 FR55の正面および側面の項目

番号	品目	説明
1	153 mm LCDタッチスクリーン	デバイスの操作に必要なすべての情報が表示されます。
2	フロントカメラ (8MP)	写真やビデオを撮影します。
3	レシーバ	ハンドセットモードでのオーディオ再生に使用します。
4	近接/光センサ	ディスプレイ バックライトの輝度を制御するために、近接および周辺光を判別します。
5	バッテリー ステータス LED	充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションから生成された通知を示します。
6	プログラム可能ボタン	カスタマイズ可能なボタンであり、必要に応じてさまざまなアクションを割り当てることができます。
7	PTTボタン	通常、PTT通信に使用します。規制上の制限がある場合、このボタンを他のアプリケーションで使用できるように設定可能です。
8	音量上/下ボタン	オーディオの音量を上げ下げします（プログラム可能）。

図 2 背面図と上面図

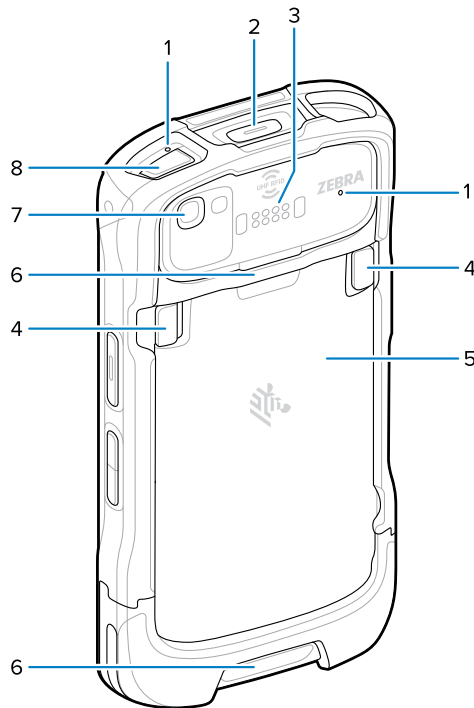


表 2 背面および上部の項目

番号	品目	説明
1	マイク	ハンドセット／ハンズフリーモード、音声録音、ノイズキャンセリングでの通信に使用します。

表 2 背面および上部の項目 (Continued)

番号	品目	説明
2	緊急ボタン	緊急アラートの送信に使用できます。
	背面の共通I/O ピン 8つ	ホスト通信、オーディオ、ケーブルとアクセサリを介したデバイスの充電に使用します。
4	バッテリーリリース スラッチ	両方のラッチをつまんで持ち上げ、バッテリーを取り外します。
5	バッテリー	デバイスに電力を供給します。
6	ハンドストラップ ポイント	ハンドストラップの取り付けポイントです。
7	フラッシュ付き 背面カメラ (16MP)	フラッシュを使用して写真やビデオを撮影し、カメラの照明に使用します。
8	電源ボタン	ディスプレイをオン／オフします。長押しすることで、電源オフ、再起動、またはデバイスのロックを実行できます。

図 3 底面図

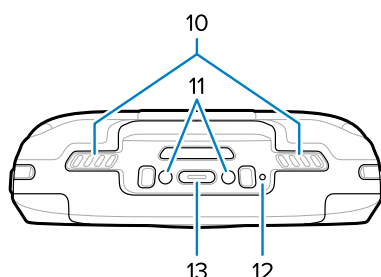


表 3 底面の項目

番号	品目	説明
10	スピーカ	ビデオ、音楽を再生するためのオーディオ出力を提供します。スピーカーフォンモードでオーディオを再生します。
11	DC 入力ピン	充電用の電源／アース（5VDC～9VDC）です。
12	マイク	ハンドセット／ハンズフリーモード、音声録音、ノイズキャンセリングでの通信に使用します。
13	USB Type C および 2 つの充電ピン	2つの充電ピン付きI/O USB-Cインタフェースを使用して、デバイスに電力を供給します。

デバイスのセットアップ

ここでは、デバイスの組み立てと初回の電源投入について説明します。

デバイスを初めて使用する際には、以下のことを行います。

1. nano SIMカードを取り付けます。

2. 設定に応じて、必要であればmicro Secure Digital (SD) カード、SAMカード、または追加のnano SIM カードを取り付けます (オプション)。



注：FR55は、データ／メモリに関してデュアルSIM、SIM+SAM、SIM+SDの3つのバリエーションがあります。SIMの位置は一定ですが、セカンダリスロットは異なります。

3. バッテリーを取り付けます。
4. ハンドストラップを取り付けます (オプション)。
5. 本デバイスを充電します。
6. デバイスの電源をオンにします。

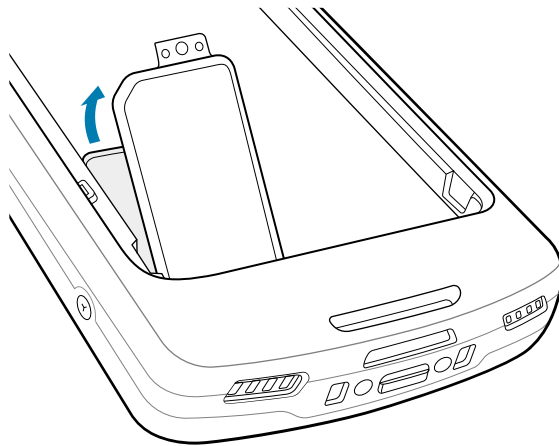
SIMカードの取り付け

ここでは、通話の発信、テキストメッセージの送信、携帯電話ネットワーク上でのデータ転送に必要なSIMカードの取り付け方法について説明します。スロットはバッテリーパックの下にあります。

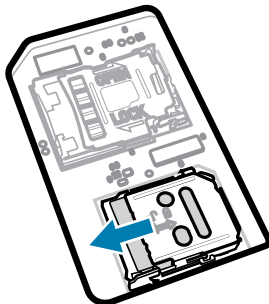


注意—ESD：SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESDに関する注意事項として、ESDマット上での作業や、作業する場合の適切な接地の確認などが記載されています。

1. アクセスドアを持ち上げます。

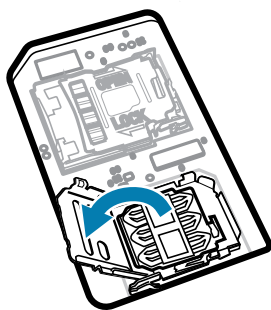


2. SIMカードホルダーをスライドさせ、ロックを解除します。

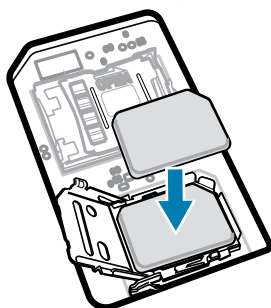


注：使用するFR55の設定に応じて、メモリ／データスロットのレイアウトが異なります。設定はアクセスドアに示されています。SIMカードの取り付けプロセスは同じです。

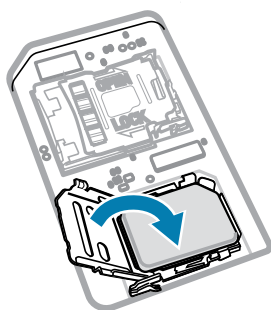
3. SIMカードホルダードアを持ち上げます。



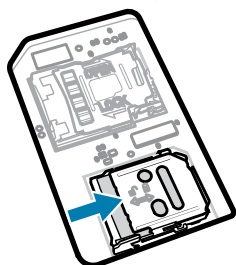
4. カードホルダーにSIMカードを下向きに取り付けます。



5. SIMカードホルダードアを閉じます。

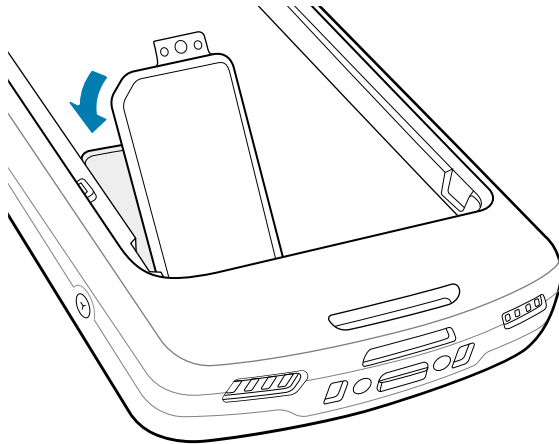


6. SIMカードホルダーをスライドさせてロックします。



注：デバイスの適切な密閉状態を確保するため、アクセスドアは元の位置にしっかりと取り付けする必要があります。

7. アクセスカバーを元通りに取り付けます。



eSIMのアクティブ化

デバイス上でeSIMを有効にします。

eSIMを追加する前に、キャリアに連絡してeSIMサービスとそのアクティベーションコードまたはQR Codeを入手してください。



注： 機内モードが**OFF (オフ)**になっていることを確認します。

1. デバイスで、取り付けられているSIMカードを使用して、Wi-Fiまたは携帯電話のデータ通信を介して、インターネット接続を確立します。
2. **Settings (Settings (設定))**に移動します。
3. **Network & internet (Network & internet (ネットワークとインターネット)) > Mobile Networks (Mobile Networks (モバイルネットワーク))**をタッチします。
4. SIMカードがすでに取り付けられている場合は、**+(SIMs (加入者識別モジュール))**の横にある**SIMs (+)**をタッチします。SIMカードが取り付けられていない場合は**SIMs (SIMs (加入者識別モジュール))**をタッチします。



注： 続行するには、セキュアロック画面を作成するか、この画面がすでに使用されている必要があります。

Mobile network (Mobile network (モバイルネットワーク))画面が表示されます。

5. 次のいずれかを選択します。
 - **MANUAL CODE ENTRY (MANUAL CODE ENTRY (手動でコードを入力))**を選択して、アクティベーションコードを入力します。
 - **SCAN (SCAN (スキャン))**を選択して、QR Codeをスキャンし、eSIM プロファイルをダウンロードします。

Confirmation!!! (Confirmation!!! (確認))ダイアログボックスが表示されます。

6. **OK (OK)**をタッチします。

7. アクティベーションコードを入力するか、QR Codeをスキャンします。



注：手動でアクティベーションコードを入力する場合は、**Next (Next (次へ))**を選択して続行する必要があります。

Downloading a profile (Downloading a profile (プロフィールをダウンロード中))メッセージが表示され、次に**Use <Network Name>? (Use <Network Name>? (<ネットワーク名>を使用しますか?))**メッセージが表示されます。

8. **ACTIVATE (ACTIVATE (アクティブ化))**をタッチします。

9. **Done (Done (完了))**をタッチします。

これでeSIMがアクティブになります。

eSIMの無効化

eSIMを一時的にオフにし、後で再度アクティブにします。



注：機内モードが**OFF (オフ)**になっていることを確認します。

1. **Network & internet (Network & internet (ネットワークとインターネット)) > SIMs (SIMs (加入者識別モジュール))**をタッチします。)
2. **Downloaded SIM (Downloaded SIM (ダウンロードしたSIM))**セクションで、無効にするeSIMの名前をタッチします。
3. **Use SIM (Use SIM (SIMを使用))**スイッチをタッチして、eSIMをオフにします。
4. **Yes (Yes (はい))**をタッチします。

eSIMが無効になります。

eSIMプロフィールの消去

eSIMプロフィールを消去すると、デバイスから完全に削除されます。

デバイスからeSIMを消去した後は、再び使用することはできません。



注：機内モードが**OFF (オフ)**になっていることを確認します。

1. タッチ **Network & internet (Network & internet (ネットワークとインターネット)) > SIMs (SIM)**.
2. **Downloaded SIM (Downloaded SIM (ダウンロードしたSIM))**セクションで、消去するeSIMの名前をタッチします。
3. **Erase (Erase (消去))**をタッチします。



注：続行するには、セキュアロック画面を作成するか、この画面がすでに使用されている必要があります。

Erase this downloaded SIM? (Erase this downloaded SIM? (このダウンロードしたSIMを消去しますか。))メッセージが表示されます。

4. **Erase (Erase (消去))**をタッチします。

デバイスからeSIMプロフィールが消去されます。

microSDカードの取り付け

microSD カードをスロットに挿入すると、不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはバッテリーパックの下にあります。詳細についてはカード付属のマニュアルを参照し、使用の際はメーカーの推奨事項に従ってください。

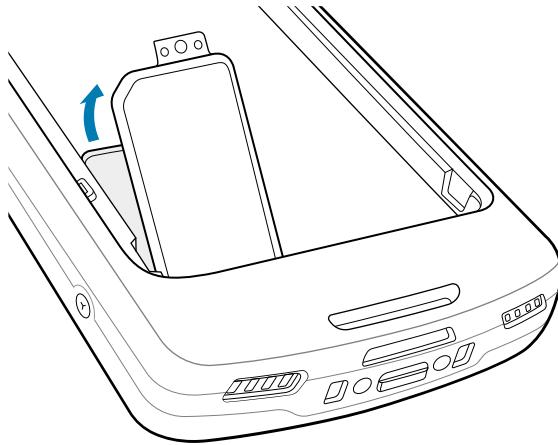


注意—ESD：MicroSDカードの損傷を防ぐため、静電気放電（ESD）に関する注意事項に従ってください。ESDに関する注意事項として、ESDマット上での作業や、作業する場合の適切な接地の確認などが記載されています。

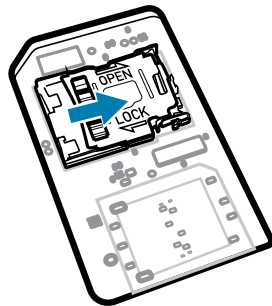


注：これはSIM+microSDカード構成にのみ該当します。

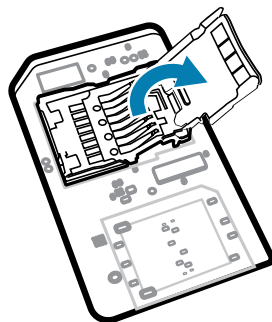
1. アクセスドアを持ち上げます。



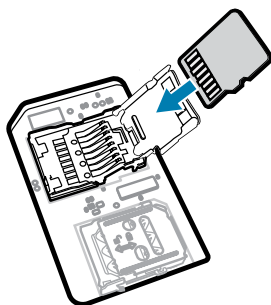
2. microSDカードホルダーをスライドさせて開きます。



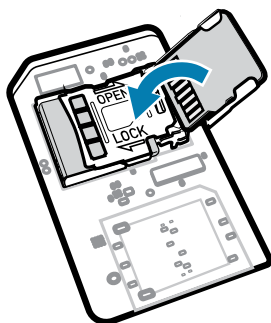
3. microSDカードホルダードアを持ち上げます。



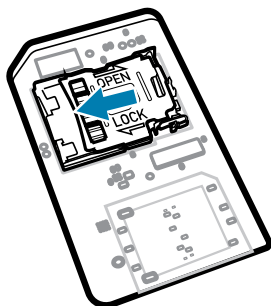
4. microSDカードをカードホルダーに挿入し、ドアの両端にある固定タブの内側にスライドさせます。



5. microSDカードホルダーを閉じます。

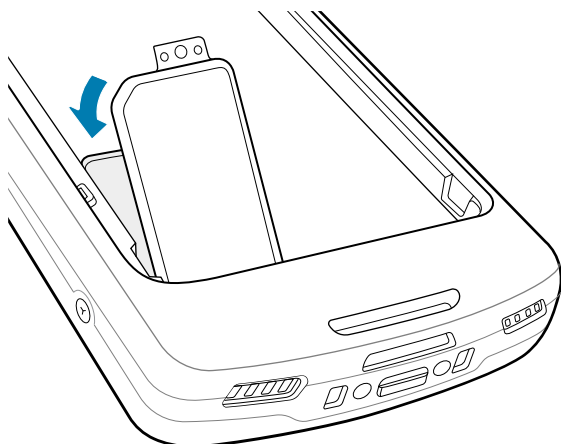


6. microSDカードホルダーをスライドさせてロックします。



重要：適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセス カバーは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

7. アクセスドアを元通りに取り付けます。



SAMまたは2番目のSIMカードの取り付け

ここでは、SAMまたは2番目のSIMカードの取り付け方法について説明します。スロットはバッテリーパックの下にあります。

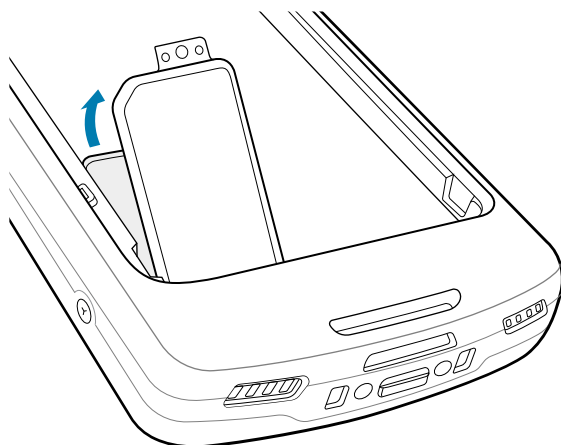


注意—ESD：SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESDに関する注意事項として、ESDマット上での作業や、作業する場合の適切な接地の確認などが記載されています。

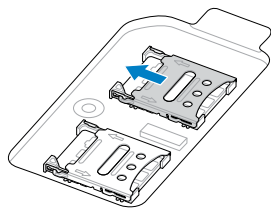


注：このメモリ／データカードスロットのレイアウトは、SIM+SIMおよびSIM+SAM構成にのみ該当します。

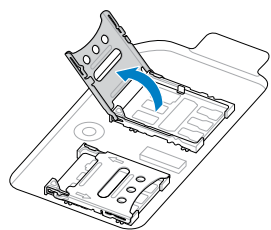
1. アクセスドアを持ち上げます。



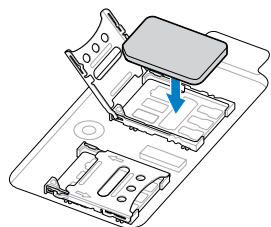
2. カードホルダーをスライドさせてロックを解除します。



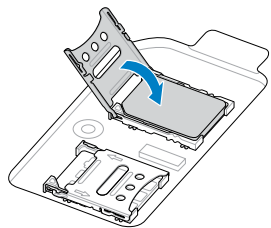
3. カードホルダードアを持ち上げます。



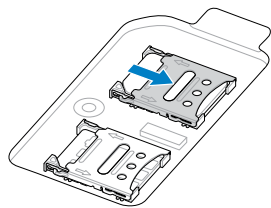
4. カードホルダーに必要なカードを下向きに取り付けます。



5. カードホルダードアを閉じます。

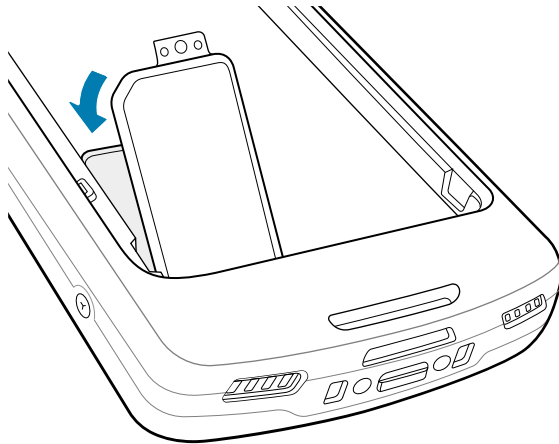


6. カードホルダーをスライドさせてロックします。



注：デバイスの適切な密閉状態を確保するため、アクセスドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

7. アクセスカバーを元通りに取り付けます。



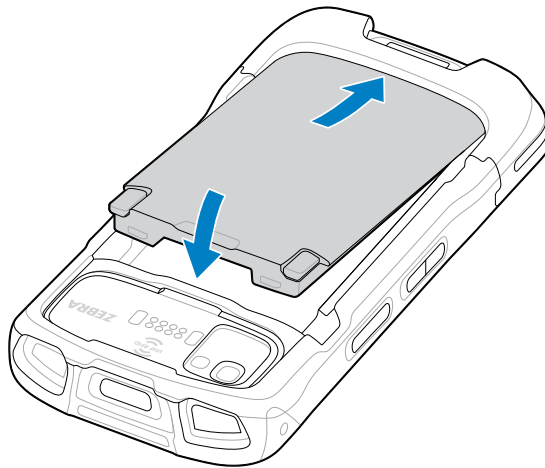
バッテリーの取り付け

ここでは、デバイスにバッテリーを取り付ける方法について説明します。



注：バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカー、またはその他のオブジェクトなどを付けないでください。デバイスまたはアクセサリの意図された性能が損なわれるおそれがあります。シーリング [保護等級 (IP)]、衝撃性能 (落下および転倒)、機能、または耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。

1. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。
2. 正しい位置に固定されるまで、バッテリーを下に押しします。



BLEビーコン付き充電式リチウムイオンバッテリー

このデバイスは、Bluetooth Low Energy (BLE) ビーコンに対応する充電式リチウムイオンバッテリーを使用します。有効にすると、バッテリーの消耗によりデバイスの電源がオフになった時点で、バッテリーは最大7日間にわたってBLE信号を送信します。



注：デバイスがBluetoothビーコンを送信するのは、デバイスの電源がオフになっているか、機内モードになっている場合のみです。

セカンダリBLEの設定の詳細については、techdocs.zebra.com/emdk-for-android/13-0/mx/beaconmgr/ を参照してください。

充電式リチウムイオンワイヤレスバッテリー

使用して無線充電を行います。



注：充電式リチウムイオンワイヤレスバッテリーは、Zebraワイヤレス充電車載用クレードルまたはQi認定ワイヤレス充電器にセットしたデバイスとともに使用する必要があります。

BLEビーコン

充電式リチウムイオンバッテリーは、Bluetooth Low Energy (BLE) ビーコンに対応します。有効にすると、バッテリーの消耗によりデバイスの電源がオフになった時点で、バッテリーは最大7日間にわたってBLE信号を送信します。



注：デバイスがBluetoothビーコンを送信するのは、デバイスの電源がオフになっているか、機内モードになっている場合のみです。

セカンダリBLEの設定の詳細については、techdocs.zebra.com/emdk-for-android/13-0/mx/beaconmgr/ を参照してください。

デバイスの充電

最適な充電結果を得るには、Zebraの充電用アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。デバイスをスリープモードにして、室温でバッテリーを充電してください。

Power（電源）を押したときや、一定の期間にわたって非アクティブな状態が続いた場合に、デバイスはスリープモードになります。

バッテリーは、完全に消耗した状態から約2時間で90%充電済みになります。多くの場合、90%の充電で日常的使用には十分です。使用プロファイルに応じて、100%のフル充電を行うと、約14時間連続で使用可能な場合があります。

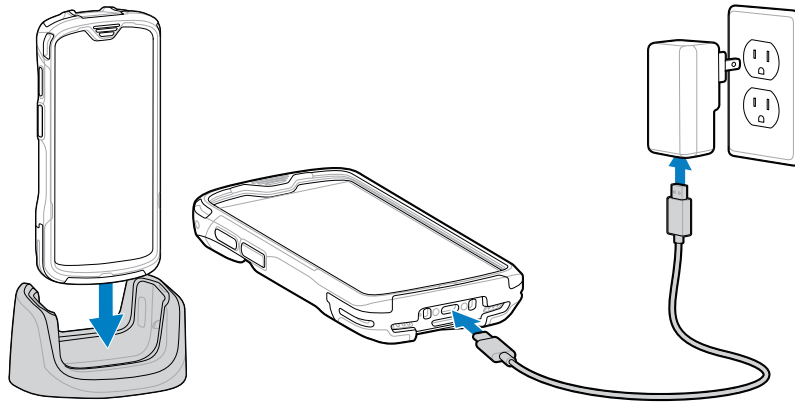
デバイスとアクセサリにより、常に安全かつインテリジェントな方法でバッテリーの充電が実行されます。異常な温度のため充電が中止された場合は、LEDが点灯するとともに、デバイスのディスプレイに通知が表示されます。

温度	バッテリー充電の動作
20～45°C (68～113°F)	最適な充電範囲です。
0～20°C (32～68°F) ／45～50°C (113～122°F)	セルのJEITA要件を最適化するために充電が遅くなります。
0°C (32°F) 未満／50°C (122°F) 超	充電が停止します。
55°C (131°F) 超	デバイスがシャットダウンします。

メインバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 充電用アクセサリを適切な電源に接続し、デバイスに接続します。

2. デバイスをクレードルにセットするか、電源ケーブルに接続します（最低9VDC／2A）。



注：

デバイスの電源がオンになり、充電が開始されます。充電中は、充電／通知LEDが黄色で点滅し、充電が完了すると緑色で点灯します。

充電インジケータ

充電/通知 LED は充電ステータスを示します。

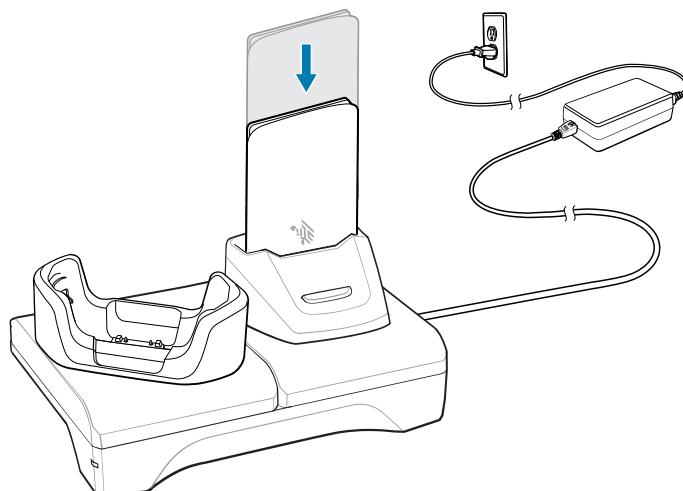
表 4 充電／通知LEDの充電インジケータ

状態	LEDの色	説明
オフ	○	デバイスは充電中ではありません。 - デバイスがクレードルに正しくセットされていないか、電源に接続されていません。 - 充電器／クレードルに電力が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (4秒ごとに1回点滅)	●	デバイスが充電中です。
赤色でゆっくり点滅 (4秒ごとに1回点滅)	●	デバイスを充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。
緑色点灯	●	充電が完了しました。
赤色点灯	●	充電が完了しましたが、バッテリーの寿命が近づいています。
黄色で速く点滅 (1秒ごとに2回点滅)	●	充電エラー。例: - 温度が低すぎるか、または高すぎる。 - 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 12 時間)。
赤色の速い点滅 (1秒ごとに2回点滅)	●	充電エラーです。また、バッテリーの寿命が近づいています。例: - 温度が低すぎるか、高すぎます。 - 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 12 時間)。

予備バッテリーの充電

このセクションでは、予備バッテリーの充電について説明します。最適な充電結果を得るには、Zebraの充電用アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。

1. 予備バッテリーを予備バッテリースロットに挿入します。



2. バッテリーが正しく装着されていることを確認します。

予備バッテリー充電LEDが点滅し、充電中であることを示します。

バッテリーは、完全に消耗した状態から約2.5時間で90%充電済みになります。多くの場合、90%の充電で日常的な使用には十分です。使用プロファイルに応じて、100%のフル充電を行うと、約14時間連続で使用可能な場合があります。

充電用アクセサリ

デバイスおよび/または予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

充電および通信

説明	部品番号	充電中		通信	
		バッテリー (デバイス内)	予備バッテリー	USB	Ethernet (イーサネット)
充電クレードル	CRD-NGTC5-2SC1B	はい	はい	いいえ	いいえ
1スロットUSB/Ethernetクレードル	CRD-NGTC5-2SE1B	はい	はい	はい	あり
4スロットのデバイス充電専用クレードルと予備バッテリー充電器	CRD-NGTC5-5SC4B	はい	はい	いいえ	いいえ
5 連充電器	CRD-NGTC5-5SC5D	はい	いいえ	いいえ	いいえ
5 スロット イーサネット クレードル	CRD-NGTC5-5SE5D	はい	いいえ	いいえ	はい

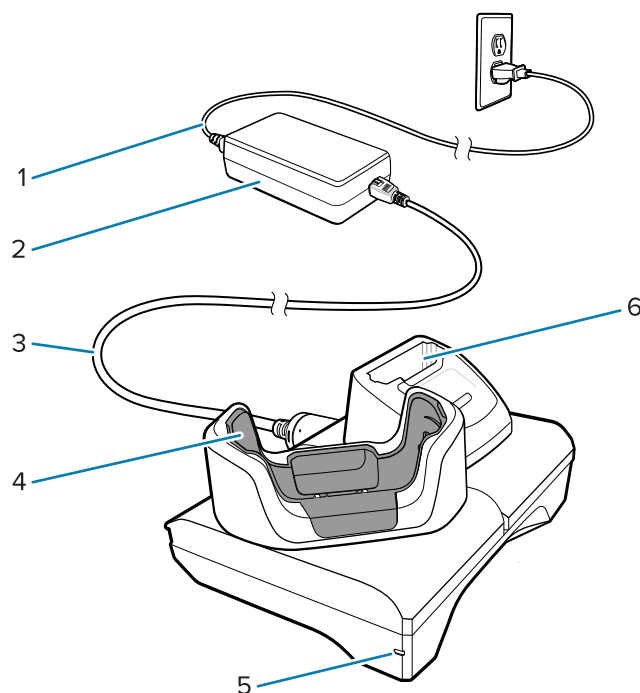
説明	部品番号	充電中		通信	
		バッテリ (デバイス内)	予備バッテリ	USB	Ethernet (イーサネット)
4 スロット予備バッテリ充電器	SAC-NGTC5TC7-4SCHG-01	いいえ	はい	はい	いいえ
充電/USB ケーブル	CBL-TC5X-USBC2A-01	はい	いいえ	はい	いいえ

充電クレードル

USBクレードルは、電力の供給、予備バッテリの充電、ホスト通信に利用できます。



注意：『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。



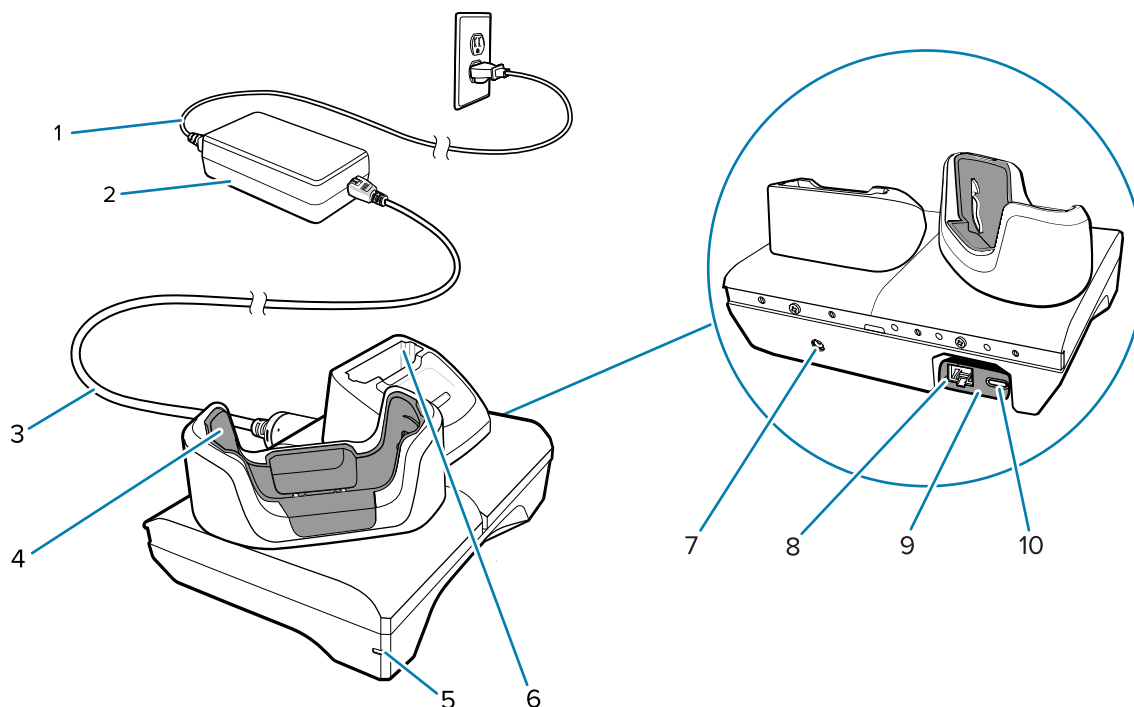
1	AC電源コード
2	電源
3	DC電源コード
4	デバイスの充電スロット
5	電源LED
6	予備バッテリ充電スロット

1スロットUSB/Ethernet充電クレードル

1スロットUSB/Ethernet 充電クレードルは、デバイスをEthernetネットワークに接続しながら、デバイス1台と予備バッテリー1つを充電します。



注意：『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。



1	AC電源コード
2	電源
3	DC電源コード
4	デバイスの充電スロット
5	電源LED
6	予備バッテリー充電スロット
7	DC 電源コード入力
8	イーサネット ポート (USB to Ethernet モジュール キット用)
9	USB to Ethernet モジュール キット
10	USB ポート (USB to Ethernet モジュール キット用)



注： USB to Ethernet モジュール キット (KT-TC51-ETH1-01) は、シングル スロット USB 充電器を介して接続します。

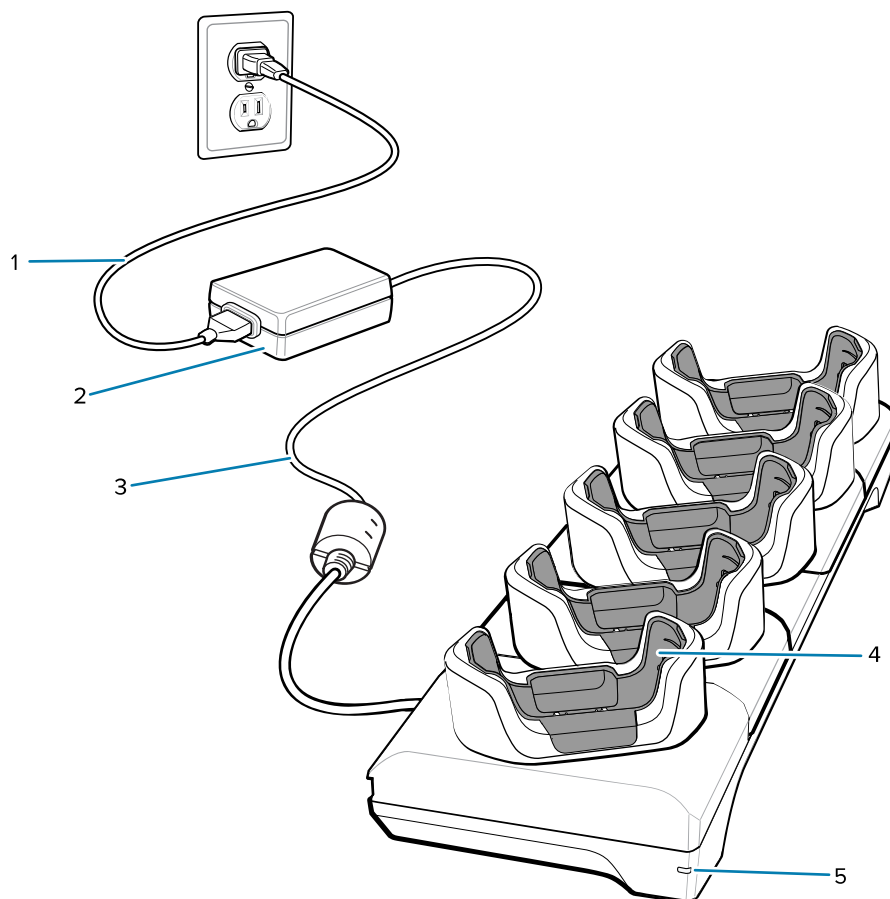
5 連充電器



注意：『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

5スロット充電専用クレードル：

- デバイスの動作に必要な5.0VDCの電力を供給します。
- 4スロット バッテリー充電器アダプタを使用して、最大5台のデバイス、または最大4台のデバイスと4台のバッテリーを同時に充電します。
- さまざまな充電要件に合わせて構成可能なクレードルベースおよびカップが含まれています。



1	AC電源コード
2	電源
3	DC電源コード
4	デバイス充電スロット（シム付き）
5	電源LED

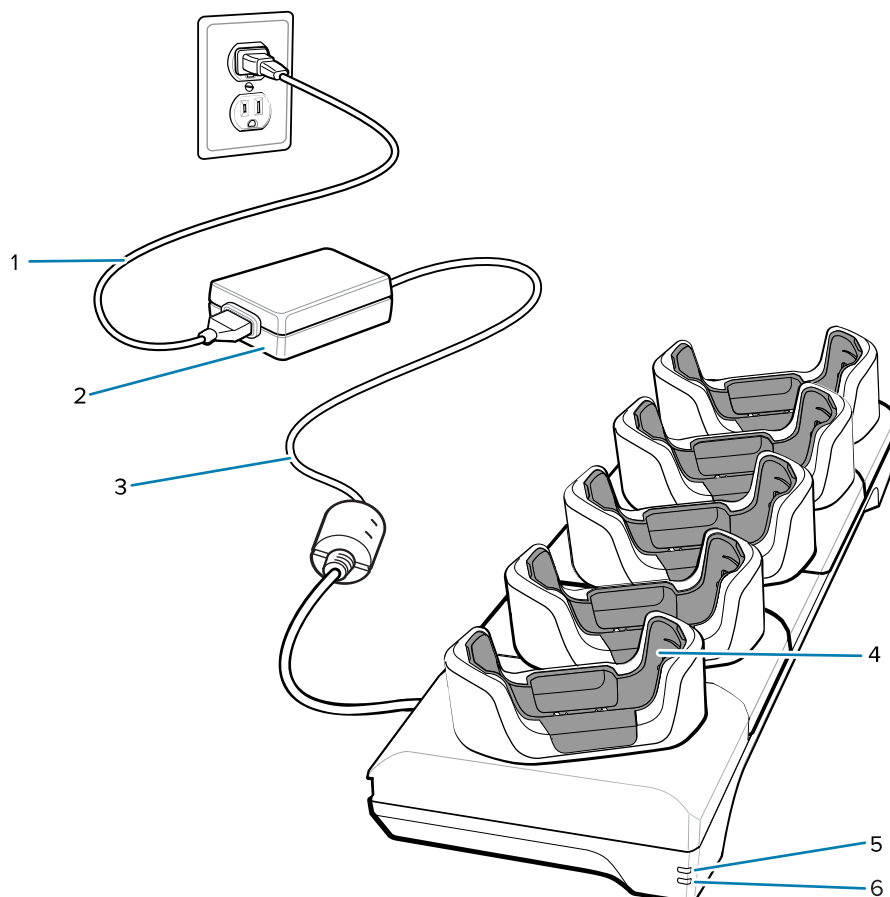
5 スロット イーサネット クレードル



注意：『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

5スロットEthernetクレードル：

- デバイスの動作に必要な5.0VDCの電力を供給します。
- 最大 5 台のデバイスをイーサネット ネットワークに接続する。
- 4 スロット バッテリー充電器アダプタを使用して、最大 5 台のデバイス、または最大 4 台のデバイスと 4 台のバッテリーを同時に充電する。



1	AC電源コード
2	電源
3	DC電源コード
4	デバイスの充電スロット
5	1000BASE-T LED
6	10/100Base-T LED

4スロットのデバイス充電専用クレードルと予備バッテリー充電器

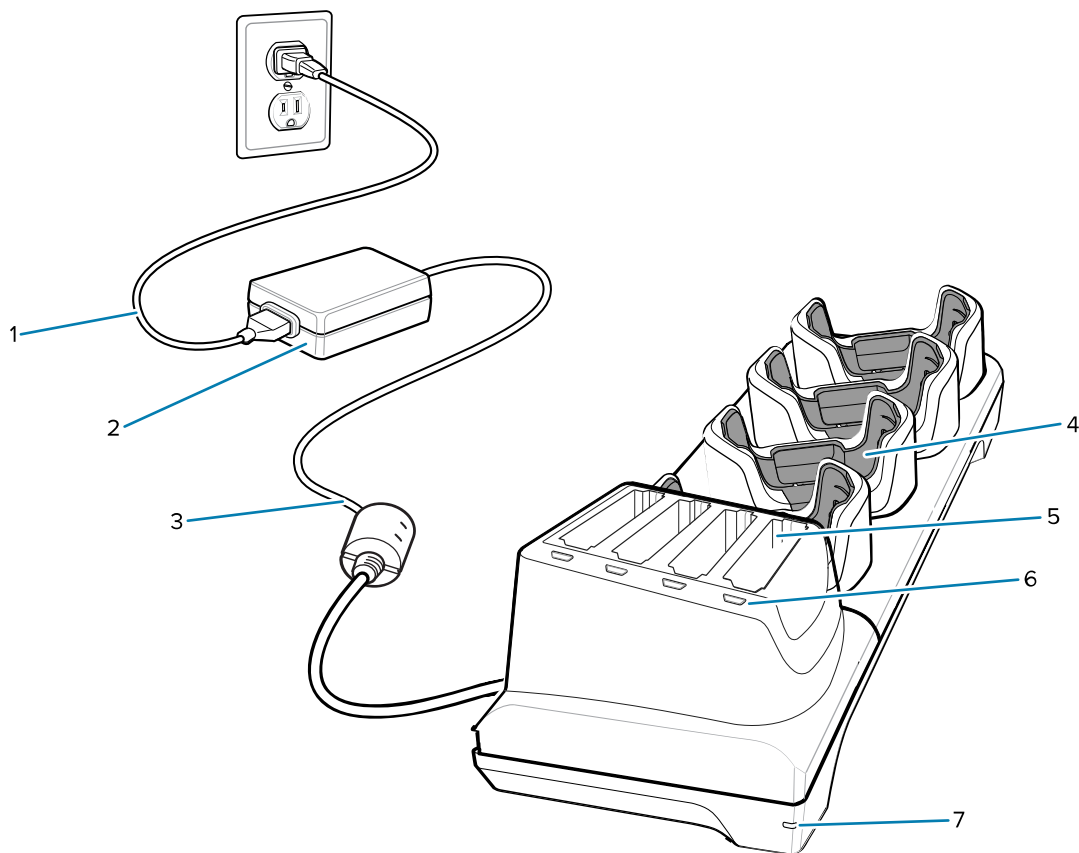
4スロットのデバイス充電専用クレードルと予備バッテリー充電器は、最大で4台のデバイスおよび4つの予備バッテリーを充電できます。



注意：『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

4スロットのデバイス充電専用クレードルと予備バッテリー充電器：

- デバイスの動作に必要な5.0VDCの電力を供給します。
- 最大で4台のデバイスと4つの予備バッテリーを同時に充電できます。



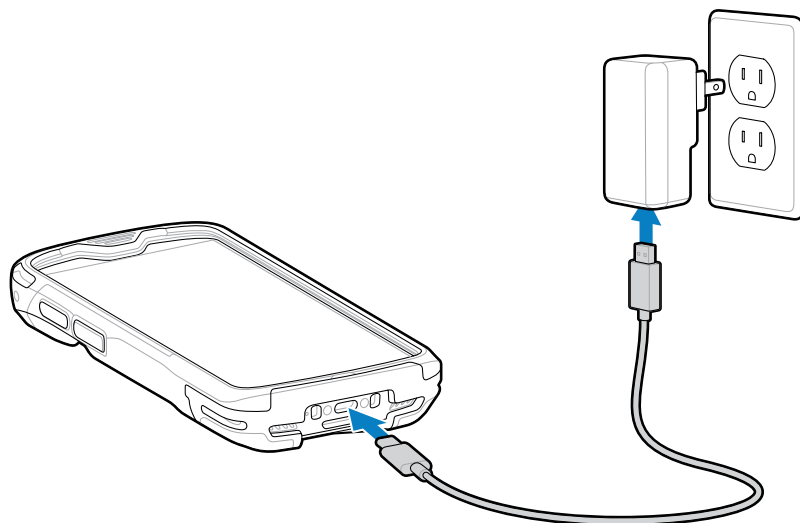
1	AC電源コード
2	電源
3	DC電源コード
4	デバイス充電スロット（シム付き）
5	予備バッテリー充電スロット
6	予備バッテリー充電LED
7	電源LED

充電/USB-C ケーブル

USB-C ケーブルはデバイスの下部に取り付けます。使用しないときは簡単に取り外せます。



注： デバイスに接続すると、デバイスでの充電、およびホスト コンピュータへのデータ転送ができます。



真のバッテリーホットスワップ

ホットスワップでメインバッテリーを交換すると、デバイスがWi-Fi/WAN接続とメモリの持続性を維持しながら、使い切ったバッテリーをフル充電されたバッテリーに交換できます。



注：

- バッテリーホットスワップの実行中、音量レベルは最大50%に設定され、バッテリーが交換された時点で元の音量に戻ります。
- Bluetoothまたは有線ヘッドセットの使用中に発信された音声通話は、バッテリーホットスワップの実行中も維持されます。
- プッシュ トークアプリケーションは、アプリが開いている限り、真のバッテリーホットスワップ中にネットワーク接続を維持します。

バッテリーが取り外されると、予備のスーパーキャパシタが直ちに後を引き継ぎ、30秒間にわたってWi-Fi/WAN接続（音声、データ、アプリケーションの現在状態のみ）を含めてシステムを維持します。この間も、ユーザーはデバイスと対話できます。電力を節約するため、ディスプレイがオフになり、タッチスクリーンが無効になります。

予測されるホットスワップの全所要時間中、デバイスの正常な機能を維持するには、次の表を参照してください。

接続タイプ	温度範囲	サポートされる通話タイプ	機能の持続時間
WAN	0～50℃	5G VoNR、4G VoLTE、LAN VOIP	30秒
VoIP/LAN	-10～50℃	LAN VOIP	30秒

バッテリーなしで30秒経過すると、デバイスは緊急（クリティカル）停止モードになります。このときメモリキャッシュは、さらに30秒間にわたって維持されます。そのため、この60秒の間にバッテリーが交換されれば、デバイスは再起動なしで動作を再開できます。バッテリーが時間内に再装着されない場合、メモリの永続性が失われ、充電済みのバッテリーが挿入された時点でデバイスが再起動する可能性があります。

バッテリーを交換する前に着信した通話は一時停止され、新しいバッテリーが挿入された時点で再開されます。これらの通話のパフォーマンスは、温度および信号強度によって異なります。

真のバッテリーホットスワップの実行

ここでは、デバイスのバッテリーホットスワップを実行する方法について説明します。



注：バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカー、またはその他のオブジェクトなどを付けないでください。デバイスまたはアクセサリの意図された性能が損なわれるおそれがあります。シーリング（保護等級（IP））、衝撃性能（落下および転倒）、機能、または耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。



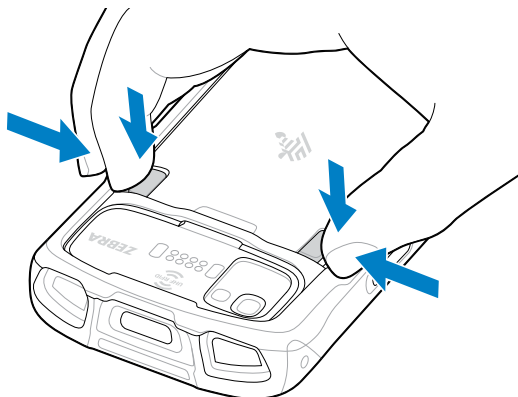
注意—製品の損傷：バッテリーの交換中は、microSD、SAM、またはSIMカードの挿入や取り出しを行わないでください。

1. 通知バーをチェックし、デバイスがバッテリー交換の準備が整っていることを確認します。



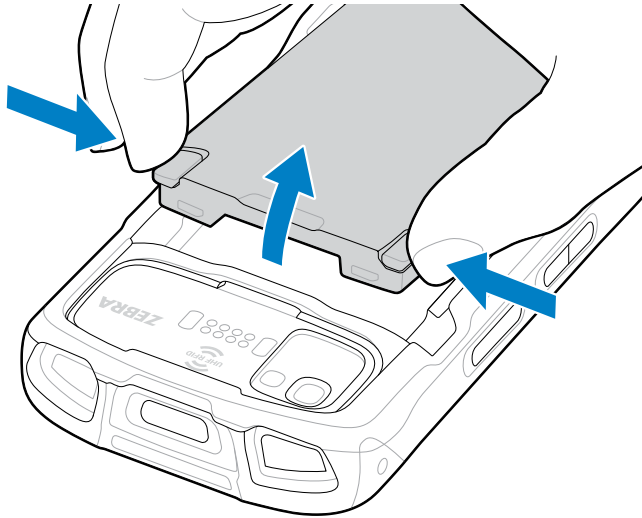
注：デバイスの準備が整っていない場合は、**Backup power not ready for battery swap.** (バッテリー交換のためにバックアップ電源の準備が整っていない)旨の通知が表示されます。

2. バッテリーへのアクセスを妨げるアクセサリがあれば、取り外します。
3. バッテリーのラッチをデバイスの中央に向かって内側に押し下げます。



注意：バッテリーを引き出すとき、ラッチの下に指を差し込まないでください。ラッチが損傷するおそれがあります。

4. バッテリーをデバイスから引き出します。

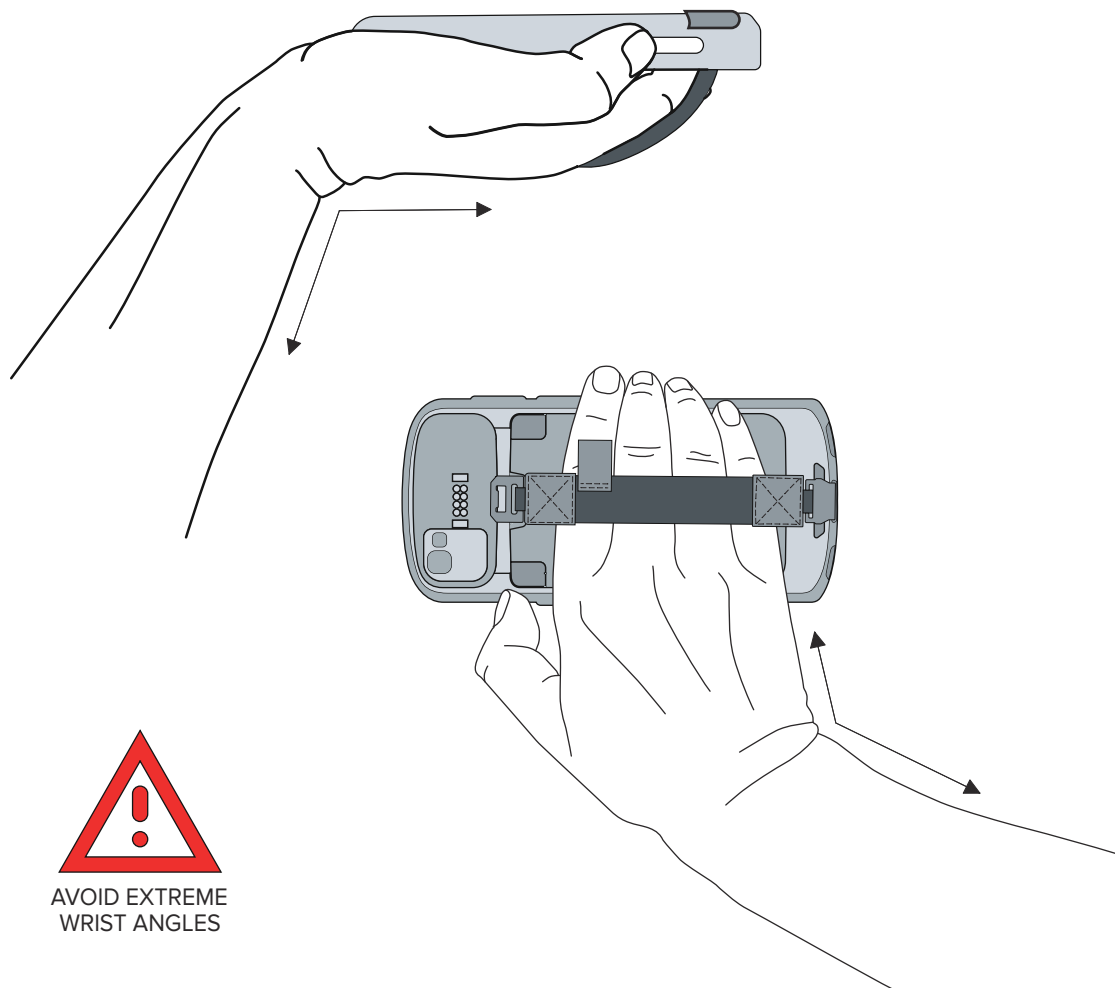


注: 新しいバッテリーを30秒以内に挿入します。そうしないとデバイスが緊急（クリティカル）停止モードになります。交換用バッテリーが挿入されると、合計60秒後にデバイスが再起動されます。

5. デバイス背面のバッテリー用コンパートメントに、交換用バッテリーを下端から先に挿入します。
6. 所定の位置にカチッと収まるまで、バッテリーを押します。

人間工学に関する考慮事項

デバイスを使用する際は、手首を極端に曲げないでください。



サービスに関する情報

Zebra の認定部品を使用した修理サービスは、製造終了後少なくとも 3 年間利用可能です。zebra.com/support からリクエストしてください。

